



宝塚第一中学校の風

～ みんなでつくる みんなの学校 一中 ～

令和2年(2020年)11月2日 発行

「新2学期」後半、誇れる自分になるために

この時期をどのように過ごすかは君次第

【校長：田川隆司】

例年なら「合唱コンクール」の取り組みで「合唱」の持つ大きな力に影響され、クラスの“絆”を感じながら新しい人間関係作りが深まっていく時期。しかし、今年は残念ながらその「感動の瞬間」に立ち会うことは出来ませんでした。とりわけ1年生にとっては、真の宝塚第一中学校の姿を実感できず、まだまだ小学生の延長のような感覚で提出物など忘れ物の多い人もいますが、今年ならではの『文化発表会週間』も経験しながら体育大会代替行事『エクサ祭 S』では、上級生に負けずクラスの仲間と協力し合って堂々と戦う姿が輝いていました。もちろん2・3年生は、昨年までのような「体育大会」とはいきませんでした。生徒会執行部をはじめ、自分たちから係り活動をかけてでてくれる人もいて「みんなでつくる みんなの学校 一中」が確実に育ってきていることを実感させてくれました。



さて、このような「豊かな体験活動」により『できるやん!』や『楽しかった!』という感情、つまり「心」の動きで「自尊感情（自分が好き）」が高くなると、これから出て行く実社会の中で建設的に生きられ、人間関係が互恵的になると言われています。

ただ「自尊感情」が正しく育たない条件が3つあります。1…劣等感を持っている場合、2…その劣等感をひきずったまま大きくなる場合、3…親が甘やかしている場合です。1と2の劣等感、親がその気持ちを受け入れ、補強してあげ

ることで解決します。3の親に甘やかされて育つ場合、何歳になっても自己中心的な性格が続く、人に助言されたり注意されたりしても「オレは悪くない」「なんで怒られるねん」となってしまいます。子どもの「自尊感情」を高めるためには、親の「甘やかし」は要注意です。また、「しつけ」は「躾」と書き、語源もさまざまですが、虐待することではなく、基本的には「ほめること」が大切。様々な体験をしていく中で、失敗した時には「どうやったらできるか」親と子が話し合って解決の方向を決め、できるようになればほめたり励ましたりしていくことが「しつけ」なのです。これからの世の中は、子どもの「性格」は学力以上に大切で、親は素直な明るい子、礼儀正しいまじめな子に育てほしいと常に願っているはず。なぜならこのような性格は、職に就いた時、学力以上に「ものを言う」ことがあるからです。

中学生、特に3年生は自分の進路に対して真正面から向き合う時期です。不安や迷いは当然出てくるでしょう。だからこそ基本の「あいさつ・服装」が「ものを言う」のです。この時期の心のゆるみでトラブルを招き、一生を台無しにしてしまうことは避けなければなりません。保護者の皆様も同様に心配されるこの時期、「親子の対話」を十分していただくとともに、遠慮なく学年の職員にご相談いただけたらと思います。規範意識の低下や感情を制御できない子どもたちが増えている中、苛立ちが増すのは「コミュニケーションの不足」とも言われています。保護者の皆様からも、子どもたちの人生の節目に、目標となる大きな「先輩」としての心強いアドバイスを是非お願いいたします。

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	日		16	月	★
2	月	3年生実力テスト	17	火	市内一斉防犯パトロール ★
3	火	文化の日 吹奏楽部定期演奏会(ベガ)	18	水	期末考査(給食なし) ★
4	水	職員会議	19	木	期末考査(給食なし) ★
5	木	学年集会 進路説明会(3) 15:00～	20	金	期末考査(給食あり)
6	金		21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	勤労感謝の日
9	月	全校集会(放送)	24	火	生徒会役員選挙運動期間(～12/3)
10	火	生徒会各部委員会	25	水	歯科検診
11	水	1日トライやる(2) 部活動早朝練習なし	26	木	学年集会
12	木	学年集会	27	金	
13	金	安全の日 NO部活★	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	

◎12月中の主な行事

- ・生徒会役員選挙(4金)
- ・2学期末個人懇談会(14月:3年のみ、15火～18金:全学年)
- ・大掃除(24木)
- ・青少年育成市民会議凧揚げ大会(19土)
- ・2学期終業式(25金)

◆体育大会代替行事「エクサ祭S」結果

【「エクサ祭S」競技の部】

- ◆優勝 3年4組
- ◆準優勝 3年1組
- ◆第3位 2年1組

【特別賞 Best of「エクサ祭s」】

- ◇3年1組&3組

